



# 「ヒマワリで手をつなごう」

※こぶんたは、当財団が管理運営することも文化センター53施設のキャラクターです。

夏の風物詩の1つでもあるヒマワリが見ごろを迎えるこの季節。高津区にある東高津こども文化センターでは、毎年この時期になるとヒマワリを栽培する取り組みが行われています。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、一斉の種まきを行わず、参加者はソーシャルディスタンスを保ちながら種をまき、大切に育てました。一生懸命育てたヒマワリの姿は圧巻で、それを見に来た地域の方々やヒマワリのお話で花を咲かせました。また、ヒマワリの前で撮った家族写真を繋ぎあわせて1枚の大きな写真を作ると、「〇〇さんも植えたんだね」「僕の隣に〇〇君がいるよ!」と自然に笑顔が生まれ、多くの方々の心を繋ぐ活動となりました。



今後も多くの方々と一緒に花を育てる活動を通して、地域の方々の心を豊かにしつつ、なごりを深めていきたいと思っています。



**11/14** 9:30~16:30(昼休憩あり) **参加費 2000円**

**地域×課題×調べる=社会調査**  
「あなたの活動ニーズを活かす手法をしる(仮)」

講師/認定NPO法人こまちぶらす 森祐美子さん  
浜銀総合研究所 有海拓巳さん/石川翔大さん

---

**12/12** 13:30~16:30 **参加費 1000円**

**「これからの会議の運営とファシリテーション**  
~オンラインとオフライン(仮)~

講師/まつど市民活動センター センター長 阿部剛さん

※会場はかわさき市民活動センター会議室です。申込み、問い合わせは一番下の連絡先まで。

**かわさき市民公益活動助成金 審査委員募集**

**募集期間** 2020年10月1日(木)~31日(土) 必着

**申込資格** 次のすべてを満たす方

- (1) 市内在住、在勤又は在学であること
- (2) 申し込み時に満20歳以上であること
- (3) 市民活動に関心があること
- (4) 川崎市職員でないこと
- (5) 市民公募委員経験者でないこと

**任期** 2021年1月1日~2022年12月31日(2年間)

**募集人数** 2名

**申込方法** 次の2点をメールで当センターへお送りください。

**書式自由**

申込書: 住所・氏名(ふりがな)・電話・メールアドレス・申込理由(簡潔に)  
小論文: 「市民活動の推進と団体の自立・発展に助成金が果たす役割について」1200字程度

※審査委員の活動内容、スケジュール等の詳細はホームページでご確認ください。

※新型コロナウイルスの影響により、掲載している情報は変更になることがあります。

**川崎市からの お知らせ NPO法人設立事務説明会を開催します**

NPO法人制度の概要や設立認証申請の際の書類作成等のポイント、設立後に提出が必要になる書類についてご説明します。

**日時・場所・会場** ※各回同じ内容で開催します。

回	日にち	時間	会場
第1回	10月10日(土)	14時半~16時半	中原区役所 5階505会議室
第2回	11月6日(金)	18時~20時	多摩区役所 11階1101会議室

**対象** 川崎市内でNPO法人の設立を検討している方や、法人格の取得を検討している団体の方

**申込方法** 窓口で直接、電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム

※ FAXの場合は、①お名前②団体名③参加人数④電話番号⑤e-mail⑥参加希望日を必ずご記入ください。  
※ 1団体2名まで(定員になり次第、申込みを締め切ります)

申込み・問合せ: 川崎市 市民文化局 市民活動推進課  
電話: 044-200-2341 FAX: 044-200-3800

川崎市HP



ナンバーゼロ 2020年秋号(通巻No.292)

【編集・発行】  
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中区新丸子東3-1100-12  
電話: 044-430-5566 FAX: 044-430-5577  
メール: suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp  
WEB: http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

Facebookでも情報を発信しています。  
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」  
<http://kawasaki.genki365.net/>

2020年秋号(通巻No.292)

# ナンバーゼロ



**目次**

P2 コロナ調査結果とセンターの取り組み

P3 センターの取り組み(オンライン)

P4 助成金審査委員募集

## 特集 | コロナ禍での団体の動き / センターの取り組み



調査第2弾 Q6の回答のタグクラウド(詳細は中面)

• タグクラウドは、テキストデータを視覚化するための方法です。 • 回答内の単語の頻度が多いほど、大きく表示されます。

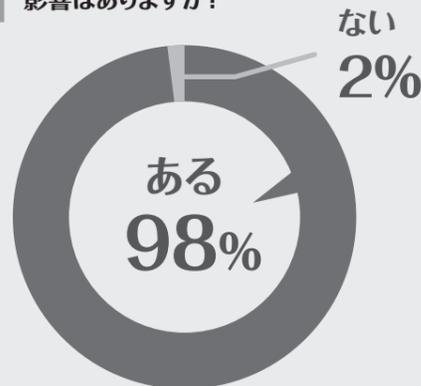
# 新型コロナウイルス感染症防止に係る 団体活動への影響等調査(第2弾)報告

報告の詳細はホームページをご覧ください。 市民活動推進事業トップ ➡ 活動を知ろう ➡ 調査研究  
http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/katudo\_shirou/chosakenkyu/covid19-2

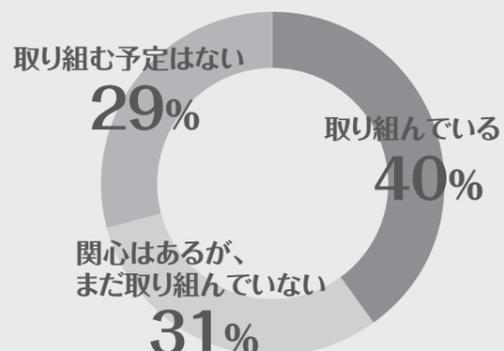
調査期間: 2020年7月初旬(締切は7月5日)  
調査対象: センターがメールアドレスを把握している団体(913団体 6月30日現在)  
回収結果: 121団体(13.3%)

市民活動団体の状況を明らかにすることで、市民活動団体の支援につなげようと、2回目の調査を行いました。調査の結果(一部抜粋、編集済み)をお知らせします。

## Q1 現在も、貴団体の活動にコロナ禍の影響はありますか?



## Q3 オンライン化に取り組んでいますか?



## Q2 前問で「ある」と答えた内容をお書きください

- イベント等の活動、定例会の中止(感染予防のため、場所が閉鎖のため)
- 対面での活動、訪問での活動の自粛
- 対面よりもZoom会議を優先させている
- 感染予防の為、外部のボランティア受入制限を行っている。
- コロナ禍以前のような対面形式でのワークショップの実施やスタッフの研修・打合せができていない。
- 例会、学習会、イベントが全てオンラインに変わりました。

## Q4 前問で「取り組んでいる」と答えた内容をお書きください

- 理事会、会議等は全てWeb会議
- リモート教室の開催に向けての準備と検証、調査、実験等の実施
- Google Meetを利用して、例会、ユーザとの打ち合わせ、入会希望者との面談、オンライン勉強会
- Skype、Discord、LINEを使ってイベントを行っている
- 連絡はLINEまたはメールで、事業計画等資料の共有はdropboxで
- Facebookで、常に連絡を取り、日々の状況確認をした
- 会議をZoomで実施を試みたが、本格的には、実施できていない
- YouTubeで過去作品や所蔵していた動画を配信

## Q5 オンライン化にあたっての課題があればお書きください

- 機材、ネットワーク環境が整っていない
- 各人の情報機器に関するリテラシーにばらつきが大きい
- 不特定多数に向けてのイベント開催方法、有料イベントの際の料金受取方法などの知識が不足している
- リモートでは細かい指導ができない。オンラインだけでは、親睦や健康増進に限りがある
- 雑談ができない、意外と会議の後の雑談から良いアイデアが出ていたように思える
- 機材購入のための予算の確保
- オンライン化できる活動ではない
- 今のところメリットの方が大きい。身体の不自由な方、高齢者、遠方の方も参加できるようになった。交通費がかからないところもよい

## Q6 オンライン化以外の3密回避行動について取り組んでいること

- 1つのテーブルで2、3人にする、開催場所の消毒をするなど
- マスク、フェイスシールド着用、飛まつ防止シート設置、定員調整
- 厚労省のガイドラインを参考にしている
- 活動場所の利用制限人数を守って一回活動人数を決める。入れ替え制の導入
- 家で歌っていただけよう「うたごえDVD」を作成した
- 事前に、かなり早めに、参加人数をヒアリングし、大きめの会議室の予約をしている
- 人数を時間で分けている。とくに集合時間と解散時間を数人ずつ分けている
- 広い会場を確保したいと思っているが、予算のことがあり、悩んでいる
- 会合および催し物の中止を、当面続けざるを得ない
- ずっと、集まっていた活動は休止して、個人でできることを行っている

## Q7 当センターに期待すること(事業やサービス)

- オンラインの使い方を具体的に教えてほしい。
- オンライン化の事例紹介等、具体的な情報提供。
- 会議室での出席者とその自宅からZoomビデオ会議ができる程度のインターネット環境の整備。
- オンラインの場合のネットワーク環境提供(有線LAN、個室)など。
- 会議室等を利用して、オンライン講座等を発信することができれば。
- 課金制のイベント開催の方法など自立した活動をするためのセミナーなど開催を希望。
- 消毒、換気、衝立あるいはビニール幕を使用した緩衝帯の設置。
- 活動センター職員とZoomなどで相談ができると、3密も避けられて嬉しい。
- Zoomでの相談やセミナー開催があると、参加しやすいと思う。
- オンライン化について、機器の購入資金等を助成していただきたい。
- オンラインセミナー製作の伴走支援プログラムがあるとありがたい。
- どのような条件をクリアしたら、イベント開催ができるのか、共有できる基準があると助かる。
- コロナのある生活の中でごえん楽市や大きなイベント開催における模範を見せてほしい。

できることから動き出しています。

かわさき市民活動センターの  
取り組み

### 新しい方法で団体を紹介

#### ★動画で2分間アピール

希望する団体の動画をセンターで録画し、テロップを入れるなど編集後、インターネットで公開します。動画公開は10月上旬から。応募方法はホームページで。

#### ★区役所で掲示

2019年度かわさき市民公益活動助成金交付事業のPRシートを、市内の各区役所ロビー等に掲示します。幸区、中原区は終了しました。

川崎区	10月5日(月)~9日(金)川崎市役所第3庁舎
高津区	10月1日(木)~8日(木)高津区役所
宮前区	10月1日(木)~16日(金)宮前区役所
多摩区	10月26日(月)~11月4日(水)多摩区役所
麻生区	準備中

### リアルで集まる

#### ★ごえんカフェ

顔を合わせて直接話せば伝わるものも大きいですね。今年度は定員を抑えて開催します。当日は、マスク、名刺、パンフレット等をご持参ください。フェイスシールドプレゼント!

日時: 10月31日(土) 13:30~15:30

場所: かわさき市民活動センター  
フリースペース・会議室

対象: ボランティア・市民活動団体、  
社会貢献等に関心のある方、40人

内容: 事例発表、市民活動PR  
タイム、フリートーク等

申込締切: 10月27日(火)  
詳細はQRコードから



### オンライン支援

#### ★「Zoom会議」運営セミナー 10月11日(土)

NECプロボノチームとの共催により、Zoomを活用したオンライン会議の運営方法を習得できる講座を開催します。詳細はホームページで。



#### ★オンラインブース

センターのフリースペース内のパソコンをオンライン会議に使えます。

安定した回線、パネルで囲まれた落ち着いた環境で会議に参加できます。1週間前からの予約制、要団体登録、2時間まで。



### オンラインでもOK

#### ★「市民発」編集会議

センター会議室での開催に加え、7月からオンライン参加もできるようにしました。ここでの経験を他の事業のオンライン開催にも活かしていきます。

#### ★市民活動相談・専門相談

ボランティア活動、市民活動の各種相談がオンラインでもできます。センター職員が対応します。また、団体の手続きや事務等でお困りの方のために、各分野の専門家(税理士、行政書士、司法書士、弁護士)による無料相談を行っています。どちらも予約が必要です。

#### ★パワーアップセミナー、助成金募集説明会など

今後、オンラインでの開催も予定しています。

### 助成金・資金獲得

#### ★コロナのピンチをチャンスにする伴走支援助成

助成金交付団体を対象とし、6月24日(水)~7月22日(水)に募集しました。6団体から申請があり、すべて交付となりました。交付額合計118万円。

コロナ禍の中、3密回避の事業展開が自力では難しい団体に対して、オンライン化支援などの伴走支援をつけて助成を行い、事業を強化します。

#### ★市民活動マルシェ(仮称)

団体の収入につながるイベントを開催予定です。